

**フォーティーズ便り**

発行:横濱フォーティーズ野球倶楽部  
報道部編集

http://www.office-thank.com/~forties/

**特集**

第24回全日本生涯野球大会 平成24年6月2日~3日 上田市・千曲市・長野市



3戦投げ抜いた有馬投手

●おとうさんの甲子園 2日間で3試合 = 寿野球よりシンドイ~ (涙)

還暦越えのチームにサポートメンバーとして初参加。まず朝5時半横浜駅集合に痺れます。専属運転手の唐沢さんも「今日は4時起き」と言ってました。6時に出発し最後列では早くも宴会が始まりました。しかしそこは節度を持った紳士の集団。8時には酒瓶のふたを閉め午後からの戦闘に備える。途中横川で昼食後、上田駅前ですみずみずと給本舗一飯島商店でお土産を購入。寿参加の某氏がまた山ほど買っているの驚きました。都合4時間余りもバスに揺られ、やれやれ到着だと一息入れる間もなくさあ即試合。こんなことを日常的にやっている米国3Aのチームはやはり大変だなあ、と変な所で感心しきり。千曲橋緑地グラウンドAは寿野球で連勝した舷のいいグラウンド。結構へばっている我々と違い、お父さん方はやる気十分。緒戦は小林監督の活躍等もあり、気持ち良く勝利でスタート。試合も終わり、さあやっと風呂かと思いきや、それからなんと開会式会場へ30分掛けて移動。寿野球と比べ会場の立派さと凄い数の出場チームに圧倒されるも、洗練された式の運営に好感。小林監督の提案空しく、メンバー総意で式辞はサボる事になりそのままバスに直行、今年はプラトンから変更となった梅むらに。生涯野球の参加チームの多さを表すがごとく梅むらも大入り満員の大盛況。混雑した風呂が空く時間を待つ間にも、各々ビールだお茶割りだと始まった。夕食宴会の前に前会長を偲んで1分間の黙祷を捧げ、さあ生涯野球での初優勝を目指して乾杯!明日の天気は今ひとつ心配だが3連勝目指して頑張ろう。(浜友:高須賀)

**A7リーグ**

【1日目】6月2日 土曜日

第1試合 13:45~ 千曲橋緑地グラウンドA

倉吉ニューファイターズ(鳥取) × 横濱フォーティーズ 野球倶楽部

【2日目】6月3日 日曜日

第2試合 08:20~ 千曲橋緑地グラウンドA

ユーレインボウ(新潟) × 横濱フォーティーズ 野球倶楽部

第3試合 13:30~ 千曲橋緑地グラウンドA

信州クラブ(長野) × 横濱フォーティーズ 野球倶楽部

●遠征参加メンバー●

監督	小林 一三六 (浜友)	主将	有馬 鉄二 (浜友)
	丸山 正蔵 (浜友)		塚田 惣治郎 (浜翔)
	福島 武男 (浜翔)		四方田 信和 (湘南)
	秋葉 雅司 (湘南)		太刀岡 正 (港)
	佐藤 隆 (湘南)		安藤 修一 (港)
	鈴木 謙一 (港)		窪田 好幸 (港南)
	高橋 信行 (港南)		石井 公明 (浜風)
	伊藤 重美 (港南)	記録	石川 伸哉 (湘南)
報道	高須賀 隆 (浜友)		以上19名
応援	斉藤 敏美 (浜友)		

①第1試合【1回戦】

6/2(土) 13:45 千曲橋緑地グラウンドA

**有馬 完封に抑えて初戦突破  
安藤 先制V犠飛 小林 打走に活躍  
チーム一丸の毎回安打**

(鳥取)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(4)	(0)	計	安打
倉吉ニューファイターズ	0	0	0	0	0	2	0	2	(6)
横濱フォーティーズ	1	0	3	1	3	0	X	8	(8)
	(1)	(1)	(1)	(1)	(3)	(1)			

勝 有馬 H 塚田 敗 吉田

MVP: 太刀岡 V打点: 安藤

三塁打: 高橋信(横濱)

二塁打: 伊藤(横濱)



捕手として堅守ぶりを見せ、打つても監督の得点を呼ぶタイムリー。

太刀岡

倉吉	打	安	打	盗
守 氏名	数	打	点	塁
6 高田	3	1		
3 吉村	2			
7 松島	1	1		
5 中野	2			
8 多賀	2	1		
2 中野	2	1		
4 児島	2	1		
9 磯谷	2			
1 吉田	2			
D 藤田	2	1	2	
D 大嶋	2			
D 波田野	2			
D 内川	2			
チーム計	26	6	2	0

\*守備位置はスタート時

横濱	打	安	打	盗
守 氏名	数	打	点	塁
2 太刀岡	3	1	1	1
7 四方田	3	1	1	
6 伊藤	3	1		
3 安藤	1	1	1	
5 高橋鉄	3	1		
D 丸山	1			
代 鈴木	1			
4 窪田	2	1	1	
8 佐藤	2			
D 塚田	2			
D 石井	1			
9 高橋信	2	1	1	
1 有馬				
代 福島	2			
D 秋葉	1			
代 小林	1	1		
チーム計	28	8	4	2

投手	回	安	四	三	失	投手	回	安	四	三	失
氏名	数	打	球	振	点	氏名	数	打	球	振	点
吉田	3	3	1	4	4	有馬	3	1	1	2	
高田	2	4	1	1	4	塚田	3	5		3	2
波田野	1	1				鈴木	1				
チーム計	6	8	2	5	8	チーム計	7	6	1	5	2

とにかく先取点を取るぞと臨んだ試合。初回敵失の後、伊藤重二塁打、4番安藤はしっかり中犠飛で待望の先取点。3回石井四球、高橋信中越適時三塁打で2点目、その後3失策が絡み計3点。4、5回にも敵失で1点ずつを追加すると、小林監督が選手交代を告げる。『代打おれ』気合十分の初球フルスイングは空を切るが期待感あり。2球目、またはフルスイングすると打球は3塁頭上を越え、代打が大成功。しかしこれだけでは終わらない。太刀岡の安打で2進すると、四方田の中前安打で本塁を狙う走塁を見せる。野手のグラブに収まった時には、3塁を回りフル加速。返球する気力をもなくす好走塁で8点目が入りベンチはお祭りムード。有馬は先頭に安打を浴びるが落ちて牽制で刺し、捕手太刀岡との呼吸も合っている。塚田、鈴木で大量リードを守り、まず1勝。鳥取の強豪も8時間の長旅の疲れかエラーで自滅した。(湘南:石川伸)

⑤第2試合【2回戦】

6/3(日) 08:20 千曲橋緑地グラウンドA

有馬・塚田・高橋鉄・鈴木で  
無安打完封リレー  
塚田先制2点適時三塁打

(新潟)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	計	安打
ユレインボウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)
横濱フォーティーズ	0	3	0	5	0	0	0	X	8	(8)
	(1)	(2)	(0)	(4)	(0)	(1)				

勝 有馬 H 塚田 敗 加藤  
H 高橋鉄

MVP: 高橋鉄 V打点: 塚田  
三塁打: 塚田・石井(横濱)  
二塁打: 高橋鉄②・丸山



気のせいかな顔が赤いかな？ちょっとお酒が残ってましたが、打ち直しました。

高橋鉄

守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
8	滝沢	2			
7	筒井	1			
3	吉田正	2			
6	中山	2			
9	牛腸	1			
4	永松	1			
2	越村	1			
1	加藤	2			
5	斉藤	1			
D	佐藤	2			
D	石塚	1			
D	神田	2			
D	吉田謙	1			
チーム計 19 0 0 0					

※守備位置はスタート時

守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
2	太刀岡	3			1
7	四方田	1	1		1
代	高橋信	1			
6	伊藤	3	1		1
3	安藤	3			
5	高橋鉄	3	2		
4	窪田	1	1		1
D	丸山	3	2	2	1
8	佐藤	2	2		2
D	塚田	2	1	2	
9	石井	2	1	1	
D	福島	1			
1	有馬	1			
代	鈴木	1			
D	秋葉				
代	小林	1			
チーム計 28 11 5 7					

2回高橋鉄左越も三塁前で足がもつれて転倒アウト。その後安打の丸山、佐藤がそれぞれ盗塁を決め、塚田の右を破る適時三塁打で2点が入り、第2戦も先制する。4回高橋鉄2本目の二塁打で出塁すると窪田が四球を選んで1・2塁。丸山が左を鋭く破りボールがフェンスまで到達する間に2者生還。佐藤、石井も続きこの回5得点と8点リードで勝負あり。大量リードを4投手が無安打に抑え完璧な試合運び。この試合でも初回到有馬が牽制で刺すシーンがあり、まさにお見事という言葉以外見つかからない。特筆すべきは計13アウトを裁いた堅い三遊間の守備である。特に遊撃手伊藤には左右前後に打球が飛び大忙し。危なげないフットワークも軽やかに、一塁送球も完璧であった。さあ残るのは地元強豪チームとの決戦だ。(湘南：石川伸)

投手	回	安打	四球	三振	失点	投手	回	安打	四球	三振	失点
加藤	3	6	1		3	有馬	3			4	
神田	1	4	2		5	塚田	2		1	1	
中山	2	1	1	1		高橋鉄	1				
						鈴木	1				
チーム計 6 11 4 1 8						チーム計 7 0 5 1 0					

⑤第3試合【3回戦】

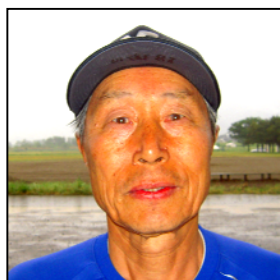
6/3(日) 13:45 千曲橋緑地グラウンドA

雨中の決戦なんとか凌ぎ切る  
再三のピンチも守り勝って初優勝

(長野)	(2)	(2)	(0)	(1)	(1)	(0)	計	安打
信州クラブ	0	1	0	1	0	0	2	(6)
横濱フォーティーズ	3	0	0	0	0	X	3	(3)
	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)			

勝 塚田 H 有馬 敗 上条  
S 高橋鉄

MVP: 塚田 V打点: 安藤  
二塁打: 太刀岡・安藤(横濱)・峯村(信州)



いやーお疲れ様でした。良く凌ぎ切りました。

塚田

守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
9	松田	3	1		
6	土屋	3	2		
2	石井	1		1	
4	松村	1			
5	白石	2			
7	荒井	2			
3	峯村	2	2	1	1
1	上条	1	1		
8	寺尾	1			
D	山中	1			
D	津田	2			
D	小宮山	1			
D	酒井	1			
チーム計 21 6 2 1					

※守備位置はスタート時

守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
2	太刀岡	2	1		
7	四方田	1			
6	伊藤	2			
3	安藤	2	1	1	
5	高橋鉄	2	1	1	
D	丸山				
4	窪田				
	福島	1			
8	佐藤	2			
1	塚田	1			
9	高橋信	1			
D	石井				
D	有馬				
D	秋葉				
チーム計 14 3 2 0					

投手	回	安打	四球	三振	失点	投手	回	安打	四球	三振	失点
上条	1	3	2		3	塚田	3	4	3		1
白石	3		1			有馬	2	2	2	3	1
土屋	1		2	1		高橋鉄	1		1	1	
チーム計 5 3 5 1 3						チーム計 6 6 6 4 2					

信州は倉吉とのじゃんけん負けと追い風か。初回塚田は2本の安打と四球でいきなり一死満塁のピンチ。しかし2者を投ゴロに仕留めてガッツポーズ。その裏、先頭太刀岡左越二塁打の後四方田の犠打で3進。2死後、安藤が初球を左中間に弾き返す。これで3戦とも先手を取った。続く高橋鉄の中前安打で2点目。連続死球、暴投で計3点先制。2回連続安打で1点返されてもなお無死二塁のピンチが続く。ここでまた走者を誘い出す見事な牽制でピンチを脱す。4回にはミスで1点を献上1点差となる。2回以降無安打の横浜に対し、攻め続ける信州、予想通り相手は強い。5回には予報どおりの雨模様の中、安打と2四死球でまたしても一死満塁の絶体絶命の場面。疲れの見る有馬だが、精神力で2者を抑え何とか凌ぐ。雨足が強くなる中、今大会攻守に活躍の高橋鉄が終回に登板する。最後は伊藤重が強い遊ゴロを倒れながら抑え、ベースカバーの福島のグラブにボールが収まったところでコールドゲーム。総合MVPの候補は沢山いて甲乙をつけがたいのだが、守備率100%の伊藤が選ばれた。(湘南：石川伸)



3連勝のサインです



生涯野球大会では初の胴上げ



総合MVP 伊藤